評価アンケ

[redacted]

メールアドレス *

[redacted]

お名前 *

[redacted]

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

- (●) OK
- ( ) だめ
- ( ) その他: _____

全体を総合しての評価

１０段階（１がよくない～１０がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は５に入れてください。
記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	◉	○

全体のまとまり

1（まとまりがない）〜10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	○	◉

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	○	◉

要素の詰め込み具合

1（少ない）〜5（適切）〜9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
○	○	○	○	◉	○	○	○	○

全体評価

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	◉	○	○	○

誤字のご報告はこちらにお願いします。

•序文の行頭1マス下げ
•「それと一緒に彼女も来るので。仕方がなく一緒の授業を受けた」→「それと一緒に彼女も来るので、仕方がなく一緒の授業を受けた」？
•「ノーベル吸血鬼章」→「ノーベル吸血鬼賞」？

良かった点を教えてください。

少しずつ覆われていく世界の影と、最後に光に包まれる多幸感のある死との対比。リフレインされる「ねえ。そこはわたくしの物陰なのだけれど」の気持ちよさ。

よくなかった、批判点などを教えてください。

少しオチが読みやすい気がしましたが、その分王道的ではあると思います。

文章ルールについて
気になる点があれば記述お願いします。

この物語を「悲劇」「喜劇」などジャンルに分けるとしたら何に当たるか、どう感じたか教えて頂ければ幸いです

吸血鬼というファンタジー要素のあるものが出てきていながら、どこかSFにカテゴライズしたくなる雰囲気のある作品だと思います。

全体の感想などありましたらお願いします

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケ

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

- (●) OK
- ( ) だめ
- ( ) その他:

全体を総合しての評価

１０段階（１がよくない～１０がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は５に入れてください。
記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

全体のまとまり

1（まとまりがない）〜10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	◉	○

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	◉	○	○	○	○	○	○	○

要素の詰め込み具合

1（少ない）〜5（適切）〜9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
○	○	○	◉	○	○	○	○	○

全体評価

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	◉	○	○	○

誤字のご報告はこちらにお願いします。

ノーベル吸血鬼章
章→賞でしょうか？
ノーベル賞の賞が賞なので

良かった点を教えてください。

よくなかった、批判点などを教えてください。

童話風なので、
繰り返しの型があったり要素が少ないのもそんなにマイナスにならないとは思いますが、
個人的にはもう少し要素や違った展開があったらもっと面白いかなと、情景、要素の少なさの10段階評価してます。

文章ルールについて
気になる点があれば記述お願いします。

この物語を「悲劇」「喜劇」などジャンルに分けるとしたら何に当たるか、どう感じたか教えて頂ければ幸いです

客観的に見たら悲劇だけど、吸血鬼（彼女）視点では準ハッピーエンドでは？
主人公の気持ちは文中にヒントなかったので、推測できませんでした。
私はメリバが一番近いかなと思いつつ、眷属は望んで彼女の眷属になったのでメリバでもないかな〜って気持ちです

全体の感想などありましたらお願いします

パワーワード合戦で面白かったです。
”吸血鬼の話は最後まで聞くこと条例””国民皆わたくしの眷属という公約””ノーベル吸血鬼章”
国民皆わたくしの眷属の公約が実行されたのに眷属になってない主人公

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケ

[redacted]

メールアドレス *

[redacted]

お名前 *

[redacted]

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

- (●) OK
- ( ) だめ
- ( ) その他: .....

全体を総合しての評価

１０段階（１がよくない～１０がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は５に入れてください。
記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	◉	○	○	○	○	○	○

全体のまとまり

1（まとまりがない）〜10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	◉	○

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	◉	○	○

要素の詰め込み具合

1（少ない）〜5（適切）〜9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
○	○	○	○	◉	○	○	○	○

全体評価

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	◉	○

誤字のご報告はこちらにお願いします。

・【ぼくはとても嫌そうな場所で】→「嫌そうな顔で」の誤字かと思いましたが、一人称視点なので自分に対して「嫌そうな顔」はあり得ない……たぶん別の文章かな……？
・【日差しをこの国から守る法案】→「この国を日差しから守る」

良かった点を教えてください。

『構成について』
　ぼくのライフステージが進むにつれて、吸血鬼を取り巻く環境はぼくを巻き込んでどんどんスケールが大きくなっていく。それもリアル寄りではなくコミカルで大げさ。どうせやるならでっかくやろうぜという感じがする。それがエンタメ性に富んでいて大変面白いです。次はどんな変化が訪れるのだろうと読み進めたくなる作りです。

『ストーリーについて』
　吸血鬼は恋愛感情を抱いて何度も接触を試みるわけだけど、ぼくは一向になびかない。【争いも苦しみも寿命もない世界】という人間にも吸血鬼にも理想の世界になっても、彼女にとっては最も手に入れたいものが欠けた世界。【最期までわたくしのものにならなかったわね】の響きのなんと寂しいことよ……。ぼくが寿命に近付いていくのをどんな気持ちで見ていたのだろうと思うと、あまりにも切ない。
　ぼくの最期を悟り、ようやく【あなたの影が欲しかった】と！　今まで意地なのか照れ隠しなのか単に傲慢なのかもしくはそれらが入り混じった気持ちなのかは分からないけれど、”私のもの”という言い方を捨てて、【欲しかった】と正直に願望を口にする。たまんねえよ……。
【わたくし、貴方ほど冷たい人を知らないわ】という言葉……もし、一度でも「もうやめてくれ」と拒絶してくれたら諦められたかもしれないのに、好意を寄せられていると分かっていながら、ついぞ突き放す言葉を口にしてくれなかった。それが彼女にとって残酷で冷たい仕打ちに思えたのかもしれない。
　そしてまさかのラスト。何もかも手に入れたのに、本当に欲しかったぼくの心が手に入らないと分かると、今まで手中に収めてきたものを、自分を、全て手放してしまう。泣き言も後悔も口にせず、席を立って闇を取り払う。映像としても鮮烈で、大変美しい幕引きでした。
　ハルヒとも似ているようで明確に違う。ハルヒは世界が思い通りにならなくて無意識に癇癪を起こし結果として世界がめちゃくちゃになりかける（って感じでしたよね）。吸血鬼の行動も似ているけれど、動機というか意志の有無が違う。カッコよかった。ただのわがまま娘じゃなく、これほど一途な想いを持ち続けていたんだと感動しました。

『キャラクターと会話について』
　ぼくは吸血鬼のことを明確に拒絶はしないけれど、性格が悪い・横暴だ、と正直に言う（が、非難とまではいかない具合なのが良い）。他の人間達と違って吸血鬼を特別扱いしない。きっとその姿勢が気に入られたのかもしれない。最後の最後まで大衆に流されることなく、【みんなと同じになったら、つまらないだろう】と言う。
　吸血鬼は何度もぼくに接触するけれど、眷属にならないことに腹を立てたり、無理に眷属にしたりはしない。高飛車でありながら、ぼくの意思を尊重している。病院のベッドで横になるぼくの元を訪れるとき、いつも引き連れている眷属を連れていない。きっと最後の会話になるだろうと分かっていて、二人だけの空間を作ったのだろう。一人でいることを愛したぼくへの配慮かもしれない。言葉の上では分からない彼女の人間味(？)が随所で見えてきて、愛すべきキャラクターだと思いました。
　二人の会話が小気味良い。ダラダラ話さず、互いに数言ずつ投げ合って、相容れないことを改めて知る。特に、ぼくが質問に対して直球を投げ返さないのが面白いです。
【一人で退屈ではないの？】に対して「退屈じゃないよ」ではなく【一人になりたいからここに居るんだよ】と。やんわりと一人は退屈という前提を否定している。眷属を増やし続ける吸血鬼の生き方と、人間の感情との違いを指摘するものでもある。
【ぼくはつまらない人間だからね】→【つまらなくない本だよ】は吸血鬼を上手くかわしていて、つまらなくない本を手に、さしたる興味が無い吸血鬼から立ち去る描写に繋がる。

よくなかった、批判点などを教えてください。

・【ほぼ寿命がないらしく】からの【短い物でも六十】は違和感がありました。人間よりも短いので。眷属になると(吸血鬼に血を吸われると)寿命が長くなるなら、「短い者でも二百」くらいはほしいところ。
・【短い物でも六十】→「もの」ですが、人格があるなら「者」の方がいいと思います。単に数字を指しているなら「もの」、もしくは「短くても六十」と言い換えることもできます。いずれにせよ、ここで「物」が選択されているのは、個人的には好きません。
・【彼女も屋上から出ていき】→視点がおかしくなっています。自分が先に屋上から出て、彼女がすぐ後ろに付いてきているなら「彼女も屋上から出てきて」という表現になると思います。(自分が屋上に留まっているなら「彼女 ”は” 屋上から出ていき」と言える)
・【県議会では、日光を完全に遮断するようにこの地域が囲むくらいのドームが作られた】→【県議会では……ドームが作られた】で主語と述語がねじれています。また、【この地域が囲むくらいのドーム】→「この地域 “を” 囲むドーム」でしょうか。助詞の使い方を誤っています。直すなら「県議会では、日光を完全に遮断するドームの建造が決まった。県内に日の差す場所はもう無い。全てが物陰になった」とかでしょうか。
・【白くて長い髪は雪水が溶けて流れて】→水は透明なので……普通に「雪のよう」とか「曇り一つ無い新雪のよう」とかでいいのではないでしょうか。
・【陶器みたい、とはあんな色を言う】→肌の描写に陶器の比喩を使うとき、質感や張りを表現するのが一般的で、色には使いません。
・【顔のパーツはみんな、とても整った場所にあって】→顔のパーツが美形と言われる配置や大きさならば”整った顔”と言われるわけで、”整った場所”という表現は使わないと思います。
・明確に間違いとは言い難いのですが【作物を作る】は小説において美しくない字面だと思います（”頭痛が痛い”みたい)。「野菜を作る」とか「農法を確立する」とか……。
・【ノーベル吸血鬼章】→ノーベル賞までも乗っ取られているという話なら、わざわざ【章】を採用しなくてもいいかなと思います。あえてそうしているなら、その世界で【章】になった理由が知りたくなります。
・【寿命という概念はぼくだけのものになった】→眷属でも寿命が六十の人もいるんじゃなかったっけ……？ 矛盾しているように思います。
・題名がネタバレになっているので変えてほしいかも……。

文章ルールについて

気になる点があれば記述お願いします。

この物語を「悲劇」「喜劇」などジャンルに分けるとしたら何に当たるか、どう感じたか教えて頂ければ幸いです

　すっっっごく難しい質問ですが、こうやって悩めるくらいに結末を一言でくくることができないのは、素晴らしいことだと思います。吸血鬼の恋が実らずかわいそう……とも見えるのですが、好きな人間と最期まで寄り添い、人間の意志を強引に捻じ曲げずに尊重し、手に入らない愛を諦めることができたのは、僕の目からすれば美しいなと思いました。

全体の感想などありましたらお願いします

批判点で「これおかしくない？」と思ったことを山ほど書きましたが、その全てを帳消しにできるほどのストーリー・構成・キャラ設定・台詞回しで、度肝を抜かれました。「竜の目書き結社」というサークル名が付く前からの初期メンバーですが、創設以来、自分の中で五本の指に入るくらいのお気に入りです。一切のお世辞抜きに。

なので、絶対に校正入れた方がいいです。八月の文フリで頒布ってことは印刷済みでもう間に合わないでしょうから、次に刷る前には必ず校正入れてほしいです。ちょっとした誤字脱字・文法ミスで、この作品にケチ付けられるようなことがあってはもったいない。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケ

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

- (●) OK
- ( ) だめ
- ( ) その他:

全体を総合しての評価

１０段階（１がよくない～１０がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は５に入れてください。
記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

全体のまとまり

1（まとまりがない）〜10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	◉	○	○	○

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	◉	○	○	○

要素の詰め込み具合

1（少ない）〜5（適切）〜9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
○	○	○	○	◉	○	○	○	○

全体評価

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	◉	○	○

誤字のご報告はこちらにお願いします。

良かった点を教えてください。

・「物陰の王様」という表現がすごく好きです！
・冒頭のシーンの、物陰というこそこそした場所を奪い合うという発想には唸りました。
・静かにみんな眷属になっていくのが、冷静に考えると怖いことなんですが、主人公が淡々としているので面白くて良かったです。
・いっそ全部眷属になってしまえば、世界は平和だというのに「なるほどな」と思いました。主人公！一人だけ歳をとっていくの最高だ。

よくなかった、批判点などを教えてください。

・最後の日光が差してくる下りについては、どうしてそうなったのか、少しわかりづらいかと思いました（日光が差してくる様子について描写すればわかりやすいかも？）

文章ルールについて

気になる点があれば記述お願いします。

この物語を「悲劇」「喜劇」などジャンルに分けるとしたら何に当たるか、どう感じたか教えて頂ければ幸いです

「恋愛物語」と思いました。悲劇/喜劇にするには静かな雰囲気なので、恋愛が浮かび上がってくる感じがしました。

全体の感想などありましたらお願いします

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケ

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

- (●) OK
- ( ) だめ
- ( ) その他:

全体を総合しての評価

１０段階（１がよくない〜１０がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は５に入れてください。
記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

全体のまとまり

1（まとまりがない）〜10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	○	◉

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	◉	○	○	○	○

要素の詰め込み具合

1（少ない）〜5（適切）〜9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
○	○	○	○	◉	○	○	○	○

全体評価

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	○	○	○	○	○	○	◉

誤字のご報告はこちらにお願いします。

良かった点を教えてください。

淡々と進む時間と、呆気ない最後。吸血鬼と少年というクリシェに似た関係性から生み出されるのが、「物陰」をテーマに繰り広げられるミニマルかつ世界規模の物語なのがとても面白かったです。

よくなかった、批判点などを教えてください。

ありません。名作だと思います。

文章ルールについて
気になる点があれば記述お願いします。

この物語を「悲劇」「喜劇」などジャンルに分けるとしたら何に当たるか、どう感じたか教えて頂ければ幸いです

あえてジャンル分けするならトラジコメディ、またはブラックコメディだと思いました。

全体の感想などありましたらお願いします

収録短編集でも1位を争うほど好きな話です。残酷な最後が淡々と描かれているのがとても良く、世界でたった一人のために開かれた病院のことを思うと彼女の愛を感じます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム